

イネカメムシの発生量が多いほ場があります

—山間地もしくは山地に近いほ場で発生しています—

<被害>

- ・ 出穂期に籾の基部を吸汁することにより、不稔籾を生じさせ「減収」となります。
- ・ 加害された穂は傾かずに直立穂となり、収穫皆無となることもあります。
- ・ 穂揃期以降は穂の基部を加害して斑点を生じさせ、検査等級の格下げの原因となります。

<防除>

- ・ 発生が多いほ場では、出穂期に防除する。
(見た目 2~3 割出穂状態)
- ・ さらに発生が多い場合は、乳熟期頃(出穂 7~10 日後)にも防除する。



<注意>

環境こだわり栽培(特別栽培米)をされているほ場は、使用剤数(成分数)等により、認証基準を満たさない場合がありますので注意してください。